

1 生涯にわたり学ぶ機会を ～ライフステージに応じた学習機会の提供～

人が社会で生きていくなかで、人生の節目ごとに必要な学びがあります。新しい課題に出会い、それを取り込み統合しながら成長し、そこからまた新たな学びへ発展していきます。このように、人は学び続けて、生涯を終えるまで成長し発達します。幼年期や青少年期だけでなく、中高年期や老年期においても、学びは自己を充実させ、生きがいや潤いをもたらし、いきいきとした未来への希望を生み出します。美しいものにふれる、新しいものをつくる、初めてできたという感動を味わう、そんな学びの一つ一つから昨日とは違う今日の自分、今日とは違う明日の自分が見え、人生の質を向上し、生きる活力をみなぎらせます。

元気に生きる力を育む学習機会

地域で子どもを育てる学習(15)
青少年の自立を促す学習(11)

いきいきとした暮らしを高める学習機会

趣味や教養を深める学習機会(11)
スポーツやレクリエーション活動を楽しむ学習(9)

ゆとりと生きがいを創る学習機会

高齢者が生きがいを創る学習(5)

2 学びから行動へ ～現代的課題や公共の課題の学習からまちづくりへの市民の参画の促進～

現代的課題の学習を進めることは、自分だけの学習にとどまらず、常に変化する社会について理解を深めようとするこことなり、その学びをきっかけとして、ボランティア活動や地域活動につながる事が期待できます。また、学ぶ機会に多くの人とふれあうことにより、さまざまな考え方や生き方などへの理解を深めることもできます。

市民による自主的な社会参加活動の広がりは、地域、家庭、学校、職場が活気にあふれることとなり、いきいきとした地域社会が形成され、暮らしやすいまちをつくる原動力となります。

安心して暮らせるまちをつくる学習機会

地域の安全と安心をつくる学習(11) ボランティア・地域活動につなぐ学習(13) 環境をまもる学習(4) 消費生活をたかめる学習(5)

人と人とのきずなを結ぶ学習機会

子育てをささえる学習(9) 情報化にむきあう学習(4) 健康にいきる学習(7) 男女共同参画をすすめる学習(2) 国際化や人権尊重をひろめる学習(8) 文化や歴史をうけつぐ学習(7)

3 学びを支援するしくみづくり ～生涯学習支援の充実・強化～

人びとの学びを支え、学び続ける環境をつくるためには、わかりやすい情報の提供、利用しやすい施設や気軽に相談できる体制の整備を図ることが重要です。受身で学ぶだけでなく、学んだことを教える立場になったり、自ら企画運営を行ったりする学習リーダーは、これからの生涯学習を支える要となります。学習リーダーが、学んだ成果を生かし、地域に還元していくという「学びから行動へ」と活動することを支援していく必要があります。そのためには、活動の場の提供や、ボランティアや指導者の人材情報、そしてそれを求めている人の情報の収集・提供など、意欲ある市民が気軽に地域づくりに参加できるしくみを整備していくことが求められています。

学びの場を充実する

学習施設の充実(8)

学びのための情報を充実する

情報の収集と提供(6)
学習相談(2)

学びの成果を生かす

学びの成果を生かす機会(4)

学びを進める体制を整備する

推進組織・体制の見直し(3)
市民や地域との協働と他機関とのネットワーク化の推進(4)

この計画を担う人たちへ

市民のみなさんへ 学ぶことは楽しいことです。一歩進んだ新しい自分を発見できます。そして学んだ成果を自分の暮らしに、周りの人々と生かしてください。共に学び共に生かすことから、人にやさしい生活空間が広がります。

関係団体のみなさんへ みなさんの学んだ成果をたくさんの市民に分けてください。そして学びの輪を広げてください。地道な活動、個性的な活動、柔軟な活動、自由な活動などさまざまな活動から暮らしやすいまちが育ちます。

企業のみなさんへ 市民や団体の学びを応援してください。学ぶ機会の提供や学びやすい職場環境づくりに努めてください。文化活動や社会活動に積極的に取り組むことによって、活気あふれる社会が築かれます。

この計画書は、市ホームページ、図書館・公民館などでご覧になれます。